

すなはらゆうゆうプラザ

会場	開設	令和4年度の活動状況				
		参加数（人）			曜日・数 開設期間	講座数
砂原小	H26. 11	子ども (参加率)	実施委員	サポーター	月曜9回 土曜3回 9/5～1/23	8
		134名 30.7%	21名	88名		

1 【実施委員長・校長先生からのメッセージ】

実施委員長 諸橋 美津子

開校9年目の活動は、コロナの影響による学級閉鎖が相次ぎ、7月開校を延期、2学期からのスタートとなりました。この時、各関係者への連絡調整を通して、改めてゆうゆうプラザが多くの方々に支えられていることを実感しました。

また、今年度はコロナ前の通年講座に戻し、土曜日講座は制限付きではありますが復活しました。来年度の土曜日講座は親子参加型に戻し、講座数も増やしていきたいと思っています。3年ぶりに行った閉校式では、〇×クイズを実施。学校やゆうゆうプラザに関する出題に、子どもたちは歓声をあげながら答えに殺到。正解すると体育館中に喜ぶ声が響き渡りました。子どもたちのはしゃぐ姿に、開催して良かったと思うと同時に、やっぱり子どもは遊びが大切とつくづく思いました。そして中学生ボランティアの募集を始めて4年。生徒は卒業した母校に戻る・・・こうした繋がりもまた、楽しみの一つです。

今後も指導者の皆様、地域や保護者の皆様、そして学校の先生方と協力し、コロナに負けない活動を続けていきたいと思っています。これからもご協力のほどよろしくお願いいたします。

砂原小学校長 飯野 純子

「すなはらゆうゆうプラザ」の実施にあたり、諸橋委員長をはじめ、実施委員、指導者の皆様、保護者・地域の皆様には大変お世話になり心から感謝申し上げます。

コロナ禍においても「できることをできる形で」と、工夫して実施してくださいました。

砂原小学校では、「遊びは学びの原点」とし、生活に根差した学びに取り組んでいます。

「わくわくする」「やってみたい」といった子どもの自発的な思いが、学びのスタートです。そして、思いの種は、多くの人や体験活動の中で培われます。

各講座で活動する子どもたちの様子は、普段の学校生活とは少し違った笑顔がありました。また、多くの中学生ボランティアが参加していました。自分たちが小学生時代に触れ合った中学生を手本とし、自分もやってみたいと思う気持ちが育っている証拠です。まさしく「憧れの連鎖」です。子どもたちの取り巻く環境が変化する中で、学校・家庭・地域が連携し共に育てることが、子どもたちの健全な成長を遂げることに繋がります。

「すなはらゆうゆうプラザ」にご尽力いただきました関係者の皆様には、これからもご指導とご協力のほどよろしくお願いいたします。

2 【すなはらゆうゆうプラザの取り組み・活動紹介】

～講座紹介～

<月曜講座>

<土曜講座>



	講座名	指導者	参加人数	講座名	指導者	参加人数
1	おりがみ	久保	36	葉脈標本しおり	高藤	31
2	陸上	遠藤・鈴木	36	アドベントカレンダー	池田 実施委員会	26
3	ミニテニス	宮内・山田・日比野	9	パズル遊び	福田	19
4	茶道	鈴木	31			
5	ゆうゆう塾	吉水	14			

～活動の様子～

砂原小学校の元校長、高藤先生による「葉脈標本のしおり作り♪」たくさん作りました！



<中学生ボランティア>
今年度は78名の登録がありました。
「今日は、どこの講座に行こうかな・・・」



<受付の様子>



木製パズルで家や犬、いろいろな形ができました。集中して脳がフル回転。頭をやわらかくほぐせたよ！

お菓子を詰めて
Xmas までワクワク
♪♪♪



最後はじゃんけん
でトナカイさん
から Xmas カード
をゲット！

<じゃんけんゲーム>

創意工夫の作品がいっぱいのおりがみ講座



<ミニテニス>
～みんなスポーツ大好きです～
<陸上>



<茶 道>

最後の講座では
学校の先生方を
招待しました。



干支のはじま
りを教えても
らいました。

ゆうゆう塾
では、郷土
かるたを体
験しました。



<郷土かるたあそび>



<閉校式での表彰式>



<〇×クイズの様子>

<PTA バザーでのゆうゆう手作り品販売の様子>



※例年 PTA バザーでは、施設をお借りして実施委員の手作り小物を販売。
収益金はゆうゆうイベント参加者へ還元しています。



<閉校式恒例の子どもたちを囲んだ記念撮影>

3 【すなはらゆうゆうプラザの成果】

- ・昨年度の課題だった通年講座に戻し、土曜日講座や閉校式も復活できた。
- ・令和5年度は、イベントを再開したい。
- ・開校10周年を迎えるにあたり、記念事業実施を計画している。



<中学生ボランティアの自転車>